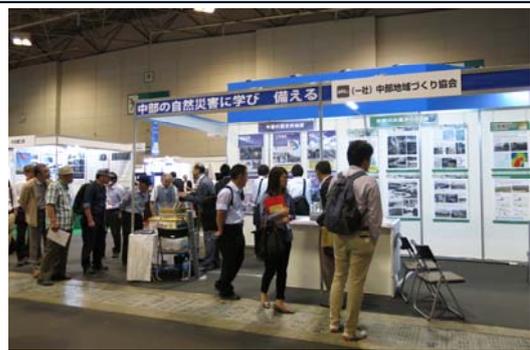
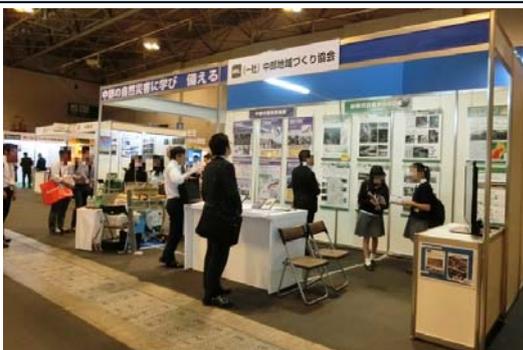


地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「第6回 中部ライフガードTEC2018 防災・減災・危機管理展」 出展
実施目的	この催しは、最新の防災・減災及び危機管理に係る製品・技術・サービス等を展示紹介し、防災意識のさらなる向上と、防災・減災関連産業の振興を図ることを目的として、開催されました。当研究所は、これに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実施日	平成30年5月17日（木）・18日（金） 10:00～17:00
会 場	ポートメッセなごや2号館（名古屋市国際展示場）
主 催	名古屋国際見本市委員会、（公財）名古屋産業振興公社
共 催	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議（事務局：国土交通省中部地方整備局）
後 援	内閣府政策統括官（防災担当）、農林水産省、経済産業省、国土交通省、消防庁
来 場 者	約 19,000 名（協会展示ブース見学者 約 400 名）
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <p>① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」（製作・著作：一般社団法人東北地域づくり協会）</p> <p>② パネル展示 ・地震：濃尾地震、三河地震、阪神・淡路大震災など ・風水害：狩野川台風から60年 特集パネル ・平成29年の主な災害：九州北部豪雨、台風21号災害など</p> <p>③ 液状化現象試験装置の実演</p> <p>④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集2017・特集 狩野川台風」</p>
実施効果	<p>第1回から連続6回目の出展となり、パネル展示や映像上映、体験型の防災啓発活動として液状化実験を実施しました。今回は、平成29年に発生した主な災害として、九州北部豪雨、台風21号などの被害状況などをパネルにて解説しました。</p> <p>液状化実験を体験された方々は、住宅基礎工事の大切さを痛感されると共に、「既存住宅の液状化対策は出来るのか」の声が多く、現状の対策法をお話しました。</p> <p>また、パネル・DVD貸出の問合せも多数あり、啓発資料についても好評をいただきました。</p>

実 施 状 況



地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「平成30年度 木曽三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」 出展
実施目的	木曽三川における洪水被害、名古屋港における高潮被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と防災関係機関が相互に連携した複合型災害に対する各種訓練による、防災体制の確立を図ることを目的としています。当研究所は、この水防演習に出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実 施 日	平成30年5月27日（日） 9:00～12:00
会 場	長良川右岸 鶴飼い大橋下流河川敷（岐阜県岐阜市長良雄総地先）
主 催	国土交通省中部地方整備局、岐阜県、愛知県、三重県、岐阜市、関市、羽島市、瑞穂市、木曽川右岸地帯水防事務組合
協 力	気象庁岐阜地方气象台、中部地方防災エキスパート 他
後 援	（一社）中部地域づくり協会 他
参 加 者	訓練参加者 約 2,000 名（協会展示ブース見学者 約 70 名）
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <p>① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」（製作・著作：一般社団法人東北地域づくり協会）</p> <p>② パネル展示 ・地震：濃尾地震、三河地震、昭和東南海地震など ・風水害：9.12 豪雨、狩野川台風、九州北部豪雨など</p> <p>③ 液状化現象試験装置の実演、ホットトルを使った気圧等の実験</p> <p>④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集 2017・特集 狩野川台風」</p>
実施効果	室戸台風級規模の台風接近による記録的な豪雨・高潮で内水氾濫や堤防決壊による浸水被害を想定のもと、長良川で水防演習が開催され、洪水情報のプッシュ型配信やドローンによる被災状況調査等が実施されました。当協会展示ブースでは、液状化実験や伊勢湾台風・9.12 豪雨・狩野川台風等のパネル展示を実施しました。体験型の液状化実験には訓練参加者からも関心が寄せられました。

実 施 状 況



地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	平成30年度夏休みこども短期教室「おもしろサイエンス」 協力
実施目的	当研究所は、「地震」等の自然科学に興味をもつ児童に発展的な学習機会を提供することにより、理科を学ぶ意欲を一層喚起し、科学技術に対する正しい理解と知識を深めるとともに、自然災害から身を守る「命の大切さ」を考え行動する力を育て、次代を担う人材の育成を図ることを目的とし、この短期教室に講師を派遣し、協力しました。
実 施 日	平成30年8月21日（火） 10:00～11:30
会 場	安八町中央公民館 1階講堂
主 催	安八町教育委員会
参 加 者	安八町内の小学校4～6年生 16名
実施内容	<p>実験でわかる「地震」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安八町は災害に強いのか？ 地震に対する「備え」「行動」他 ・模型による地震発生の原理「地震はどうして起るの？」 プレートの移動実験（海溝型地震）、断層による地震実験（内陸型地震） ・長周期地震動の実験（高層ビル、低層ビル等の揺れ） ・液状化実験装置を使った「地盤の液状化実験」 ・ペットボトルを使った液状化実験「エッキーの作成と液状化実験」 ・津波発生装置を使った「津波」の実験
実施効果	<p>小学生にもわかりやすい防災実験として、楽しみながら地震と防災に対する知識を深め、災害から身を守る一助となるよう企画しました。</p> <p>参加した小学生は、どの実験にも興味・関心を持ち積極的に取り組むとともに、災害時にどう行動したらよいかを話し合っていました。</p>
参加した小学生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な実験を体験して、地震がどうして起こるのが良くわかった。 ・また、地震に対する備えと、家族で話し合いをしたいと思います。 ・下水管やマンホールが浮いてくる「エッキー」実験が楽しかった。 ・次回も防災科学実験に参加したい。

実 施 状 況



地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「平成30年度愛西市総合防災訓練」 出展
実施目的	この訓練は、熊本地震、東日本大震災や伊勢湾台風、目比川の決壊等の過去の災害の教訓をもとに地域住民、自主防災会やボランティア団体等の主体的な取組による訓練を実施し、防災知識の習得と防災行動力の向上により、地域防災力の強化を図ることを目的としています。当研究所は、この訓練に参加協力し、地域防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実施日	平成30年8月26日(日) 16:00~18:00
会 場	愛西市市江小学校
主 催	愛西市
参加機関	国土交通省木曾川下流河川事務所、愛知県津島警察署 他
参加者	協会展示ブース見学者 約30名
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <p>① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」(製作・著作：一般社団法人東北地域づくり協会)</p> <p>② パネル展示・地震：明心地震、昭和東南海地震、東日本大震災など ・風水害：伊勢湾台風、東海豪雨、9.12 豪雨など</p> <p>③ 液状化現象試験装置の実演、ペットボトルを使った気圧等の実験</p> <p>④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集2017・特集 狩野川台風」</p>
実施効果	訓練は、地域住民、自主防災会やボランティア団体等の主体的な取組による自助・共助を基本としており、避難行動、資機材取扱、炊き出し等が実施されました。訓練参加者は過去の地震・風水害パネルや液状化実験などの体験型実験に興味を示され、積極的に参加しておられました。

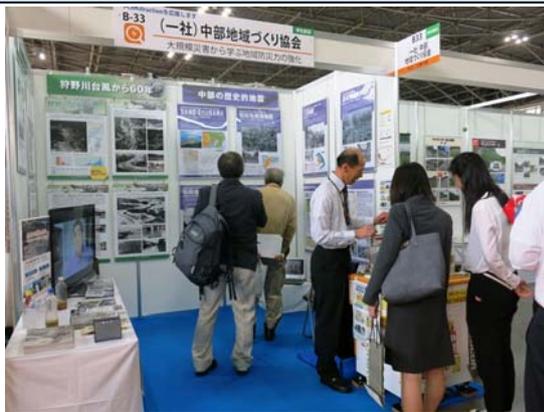
実 施 状 況



地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「建設技術フェア 2018 in 中部」 出展
実施目的	この催しは、産学官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を紹介することを主な目的としています。当研究所は、これに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実 施 日	平成30年10月17日(水) 10:00~17:00 18日(木) 10:00~16:00
会 場	吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)
主 催	国土交通省中部地方整備局、名古屋国際見本市委員会、(公財)名古屋産業振興公社
共 催	(一社)中部地域づくり協会、(公社)土木学会中部支部
後 援	農林水産省東海農政局、経済産業省中部経済産業局、 長野県、岐阜県、静岡県、三重県 他
来 場 者	約16,000名(研究所展示ブース見学者 約200名)
実施内容	防災啓発活動 ① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」(製作・著作:一般社団法人東北地域づくり協会) ② パネル展示 ・地震:宝永地震、昭和東南海地震、昭和南海地震など ・風水害:狩野川台風から60年、H29年の主な災害など ③ 液状化現象試験装置の実演 ④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集 2017」
実施効果	建設技術フェアは、当研究所の継続的な活動として平成22年より参加しており、今回で9回目の出展となりました。出展テーマを「大規模災害に学ぶ地域防災力の強化」と題し、継がれる先人たちの知恵と教訓をとりあげ、自然災害に対する備えの重要性を分かり易く、パネル展示や映像の上映等を実施しました。体験型の液状化実験には多くの見学者が興味を持たれ、液状化の原理や対策等の質問が多数ありました。

実 施 状 況



地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「平成30年度 大規模津波防災総合訓練」 出展
実施目的	地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、陸・海・空に渡る本番さながらの訓練が実施されました。当研究所は、この訓練の展示・体験コーナーに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実施日	平成30年11月3日（土） 9:00～12:00
会 場	四日市港霞ふ頭 （三重県四日市市霞二丁目）
主 催	国土交通省、三重県、四日市市、鳥羽市、四日市港管理組合
共 催	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
参加機関	指定行政機関、指定公共機関、地方行政機関等123機関
訓練参加者	約1,800名（協会展示ブース見学者 約70名）
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」（製作・著作：一般社団法人東北地域づくり協会） ② パネル展示 ・直下型地震：濃尾地震、三河地震、阪神・淡路大震災など ・海溝型地震：明応地震、昭和東南海地震、東日本大震災など ③ 液状化現象試験装置の実演 ④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集 2017」 <p>※中部地方防災エキスパートが訓練に参加（河川管理施設の被災状況調査訓練）</p>
実施効果	<p>マグニチュード(M)9.1の南海トラフ巨大地震を想定し、関係機関が連携し、避難の呼びかけや被災者の救命・救出活動、TEC-FORCEによる緊急排水や道路・航路啓開、コンビナート火災を想定した訓練など、陸海空において総合的な実働訓練が実施されました。</p> <p>当協会の展示・体験コーナーでは、液状化実験や過去に発生した南海トラフ沿いの巨大地震等のパネルを展示しました。体験型の液状化実験や、明応・宝永地震等の海溝型地震に幅広い年齢層の方が関心を寄せられました。</p>

実 施 状 況

